



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	31,097.26	321.83	1.05	-1.28	-14.42	36,338.30
NASDAQ	11,127.85	99.11	0.90	-4.13	-28.87	15,644.97
日経225	25,935.62	-457.42	-1.73	-2.10	-9.92	28,791.71
上海総合	3,387.64	-10.98	-0.32	1.13	-6.93	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,466.72	-18.29	-0.41	1.64	-9.59	4,940.37
ハンセン	21,859.79	-137.10	-0.62	0.65	-6.57	23,397.67
中国企業	7,666.88	-27.76	-0.36	0.50	-6.91	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.6%高と続伸、上海総合指数は1.1%高

香港市場は1日が返還記念日で休場のため4日間の取引。ハンセン指数は週間で0.6%高と続伸した。前半は中国で新型コロナの感染が収束した後の景気回復期待で上昇。週初の6月27日に節目の22000ポイント台を回復したが、後半は米株安などを受けて再び節目水準を割り込む展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%高と5週続伸。上海の新型コロナ封じ込めの「勝利」宣言や隔離期間の短縮措置の発表に加え、製造業PMIが4カ月ぶりに景況判断の分かれ目となる50を上回ったことなどが好感された。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、米雇用統計発表控えて様子見も

香港市場は上値の重い展開か。米長期金利の低下や上海のコロナ封じ込めはプラス材料だが、週末に米雇用統計や中国の物価統計といった重要指標の発表を控えることから、様子見姿勢が強まる公算が大きい。中国では安徽省で新型コロナの感染が拡大していることも懸念材料。中国政府による政策期待などを背景に足元で堅調な値動きが続いているものの、高値では利益確定売りが上値を抑えそう。本土市場も今週は上値の重い展開か。先週まで5週続伸で4カ月ぶり高値圏にあり、スピード調整が意識されそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サンス・チャイ(01928)	18.72	23.97
2 海底撈国際(06862)	18.30	13.95
3 小米集団(01810)	13.64	11.62
4 銀娛娛樂(00027)	46.80	11.43
5 龍湖集団(00960)	37.05	8.97
6 安踏体育用品(02020)	96.40	8.56
7 万洲国際(00288)	6.06	8.21
8 舜宇光学科技(02382)	127.90	8.11
9 華潤ビール(00291)	58.50	7.93
10 碧桂園服務(06098)	34.95	7.54

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 テンセント(00700)	354.40	-7.76
2 信義光能(00968)	12.12	-7.62
3 藥明生物技術(02269)	71.80	-6.99
4 中国建設銀行(00939)	5.27	-5.72
5 東方海外(00316)	208.00	-4.15
6 創科実業(00669)	81.85	-3.31
7 中升集団(00881)	55.35	-2.29
8 ネットイース(09999)	144.10	-2.17
9 美团(03690)	194.20	-1.97
10 アリババ集団(09988)	111.90	-1.76

▼今週の主なイベント

- 7月4日(月) 【米国】独立記念日で休場
- 7月8日(金) 【米国】雇用統計(6月)
- 7月9日(土) 【中国】物価統計(6月)

▼今週の期待材料

- ◆米個人消費支出の発表をきっかけに米10年債利回りが3%割れ、ハイテク・グロース株にとっては追い風に
- ◆中国各地で自動車などの消費刺激策の発表相次ぐ、中国政府による政策期待が相場の支えになる公算
- ◆香港と本土の株式相互取引の対象に4日からETF銘柄を追加、新たな投資資金の流入に期待高まる

▼今週の懸念材料

- ◆中国で新型コロナの感染者が再び増加基調に、安徽省の感染者急増で経済活動への影響に警戒感
- ◆上海総合指数は先週まで5週続伸で約4カ月ぶり高値圏、3400ポイントを上回る水準では利益確定売りも
- ◆8日に米雇用統計発表へ、内容によっては金融引き締め加速や景気後退懸念が意識される可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント(00700): 6月28-30日に3日連続で自社株買い、発行済み株式の0.03%
- ☆ エン鉱資源(01171): 株主総会で自社株買い計画を承認、発行済みH株の10%
- ☆ BYD(01211): 6月の新車販売台数が2.6倍に拡大、新エネ車の販売好調続く
- ☆ 理想汽車(02015): 6月の納車台数は69%増の1.3万台、4-6月は63%増
- ☆ 中信証券(06030): 香港と本土の株式相互取引の対象にETF追加、取引拡大に期待
- ☆ 蔚来集団(09866): 6月の納車台数は60%増の1.3万台、4-6月は14%増
- ☆ 小鵬汽車(09868): 6月の納車台数は2.3倍の1.5万台、4-6月は98%増
- ★ ビリビリ(09626): 中国企業指数構成銘柄に追加採用、8日大引け後に発効
- ★ 碧桂園(02007): 6月の不動産販売額が35%減少、販売面積は33%減
- ★ 中銀航空租賃(02588): 22年6月中間決算は赤字転落の見通し、最大3.3億米ドル

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。